

高速・高繊細 X線検査

イメージテックが新センサー

車の鋳造部品 全量OK

並べたラインセンサーと呼ばれる検査装置が主力。出荷前の衣料品や食品の検査に使われる場合が多いが、高繊細な画像が得られず、電子部品や鋳造部品の微小なキズは検出しにくかつた。

イメージテックが開発した新型センサーは五枚組のユニットでX線センサー数は二百五十六個とセンサー数を従来比で倍増させ画像を改善。X線を縦と横の二方向から照射することで、対象物の内部のキズの位置も特定できるようにした。

同センサーを使えば、

【浜松】X線検査装置の開発を手掛けるベンチャードイツテック(浜松市、菅圭司社長)は自動車の鋳造部品などの全量検査が可能な高速高繊細なX線検査装置を開発した。二方向からX線を照射し、製品を破壊せず部品の内部調べられる。実証試験の後、〇九年九月期から本格的な販売を始める。

イメージテックは複数のX線センサーを一列に並べて販売価格は一台千五百万元から二千万円。能。

平成20年5月9日(金)

日経産業新聞(1面)

イメージテック㈱